



＜「日本一楽しい学校」を目指しましょう。＞

弥生三月になりました。いよいよ今の学年で最後の月が始まりました。あと、一か月でそれぞれ進級、進学を迎えます。現在の66名のメンバーで過ごせるのも、あと3週間余りです。かけがえのない一日一日を大切に過ごし、笑顔で学年を締めくくりましょう。



2年生が、参観日に向けて練習してきたオペレッタ「かさこ地ぞう」を、1年生にも見せてくれました。しっかり声が出ていて、歌やダンスも上手でした。きっと、何度も練習したのでしょう。参観日よりさらに上手になっていました。



昼休みのなかよし遊びで、ドッジボールをしました。六つのなかよし班対抗で試合をしました。低学年の人も、ボールを回してもらうなど、学年を問わず楽しむことができました。6年生の人が、準備などのお世話をしてくれました。



4年生の陶芸教室がありました。窯元の方が来てくださり、作り方を教えていただきました。粘土をこねて、カップやお皿など、アイデアいっぱいの作品を作りました。世界でただ一つの作品です。焼きあがるのがとても待ち遠しいですね。



厳しい寒さも峠を越えたようです。小説家の島崎藤村さんは、「よい笑いは、暖かい冬の陽ざしのようなものだ。誰でも親しめる。」と言っています。よい笑いとは、どんな笑いでしょうか。何かをがんばった後の笑いや、できなかったことができたときの笑い、お友だちが楽しいことをしてくれたときの笑いなどでしょうか。心が暖かくなりますね。反対に、悪い笑いもあります。相手をばかにした笑い、人の失敗に対する笑い、冷めた笑いなどです。心が冷たくなります。学校の中を、よい笑いで心をぽかぽかにしましょう。

